乳幼児の 心停止の救命処置

★心停止の認識と迅速な通報

突然死に至る兆候である「心停止」は、通常の保育中や午睡中に起こります。この状態にあるこどもの応急手当は、いち早く気付くことと、初めの 2〜3 分に取る対応が救命に大きく影響します。

救急処置の手順を速やかに開始しましょう。



意識、脈拍の確認は、5 秒以内で行いましょう。

★胸骨圧迫の手法

●未就学児（両手法）
※体の小さい子は片手法を許容



（片手法）

●乳児（二本指法）



（胸郭包み込み両拇指圧迫法）



★迅速な心肺蘇生とAEDによる電気ショック

胸骨圧迫→気道確保→
人工呼吸→電気ショック

の手順で行いましょう。
また、AEDはすぐに装着しましょう。
水の事故（溺水）では、気道確保と人工呼吸を優先してください。

傷病者発見

反応の有無
- あり
- わからない、なし

何らかの反応があるか？
- 大きな声で呼び掛ける
- 肩を軽くたたく（1歳以上）
- 乳児は足の裏をたたく



☑応援を要請
☑119番通報
☑AEDを依頼

呼吸の有無
- 普段どおりあり
- わからない、なし

10秒以内で観察
❶正常な呼吸をしているか
❷脈拍
［頸部、そ径部、上腕の内側での触知］



倒れたこどものそばを離れず、全身の状態を観察

気道確保を行い、応援・救急隊を待つ

直ちに心肺蘇生を開始

直ちに胸骨圧迫を開始
- 強く …… 乳幼児の胸を少なくとも前後径の1/3（乳児4cm、1歳以上5cm）
- 速く …… テンポは100〜120回/分
- 絶え間なく… 中断を最小にする

乳幼児はできれば人工呼吸を行う。

人工呼吸ができる場合 救助者	胸骨圧迫：人工呼吸（回）
一人のとき	30 ： 2
二人のとき※	15 ： 2

※胸骨圧迫と人工呼吸を分担する

人工呼吸ができない、（感染の心配等で）ためらわれる場合
胸骨圧迫のみ

AED

AED装着

小児用（未就学児用）のパッドがない場合には、2枚が接触しないように、1枚は背中に貼ってよい。

心電図解析
電気ショックの必要
- あり → 電気ショック1回 → ショック後直ちに胸骨圧迫から再開
- なし → 直ちに胸骨圧迫から再開

- 救急隊に引き継ぐまで
- 傷病者に普段どおりの呼吸や表情、体の動きが認められるまで

続ける

心停止ではないこどもに、胸骨圧迫を行ったりAEDを使用したりしても大きな問題は起こらない。

心停止を疑ったら、迷わず迅速に心肺蘇生とAEDの装着を行いましょう。

死戦期呼吸※のときは、ためらわずに胸骨圧迫を開始しましょう。胸と腹部の動きがあっても心停止と判断します。

※死戦期呼吸とは…しゃくりあげるような不規則で時折出現する異常な呼吸、「あえぎ呼吸」とも言います。

★AED使用に関する留意点

- 全職員がAED の場所を確認しておく。
- AED には、電源ボタンを押すタイプとふたを開けると電源が入るタイプ、パッドが一体型のものと2枚に分かれているものがあるが、小児用（未就学児用）のパッドの有無もあらかじめ確認しておく。
- 小児用（未就学児用）のパッドがない場合には、2枚が接触しないように、1枚は背中に貼ってよい。
- 電気ショックの際は、誰も傷病者に触れていないことを必ず確認する。
- 救急隊が到着するまでは、胸骨圧迫を再開する際もAEDのパッドは付けたままにし、電源を切らない。

★一次救命処置※における感染症対策は？

倒れているこどもが新型コロナウイルス（COVID-19）等の感染症の罹患を心配される場合でも、ハンズオンリーCPR（心肺蘇生法）によって救助することができます。

1. 119 番に救急要請し、AED を取得する。
2. 救助者および傷病者の口と鼻をマスクまたは布で覆う。
3. 心肺蘇生を行う。
   胸の中央を深く早く、1分間に100〜120回のテンポで押す。
4. AEDが到着したら、すぐに使う。
   救命処置に関わったら、終了後、手を洗いましょう。



※一次救命処置とは…病院外での心停止に対する救命処置です。

参考：『JRC 蘇生ガイドライン2020』（一般社団法人日本蘇生協議会）P.163
『体育活動時等における事故対応テキスト〜ASUKAモデル〜』（さいたま市教育委員会）
公益財団法人日本AED 財団ウェブサイト